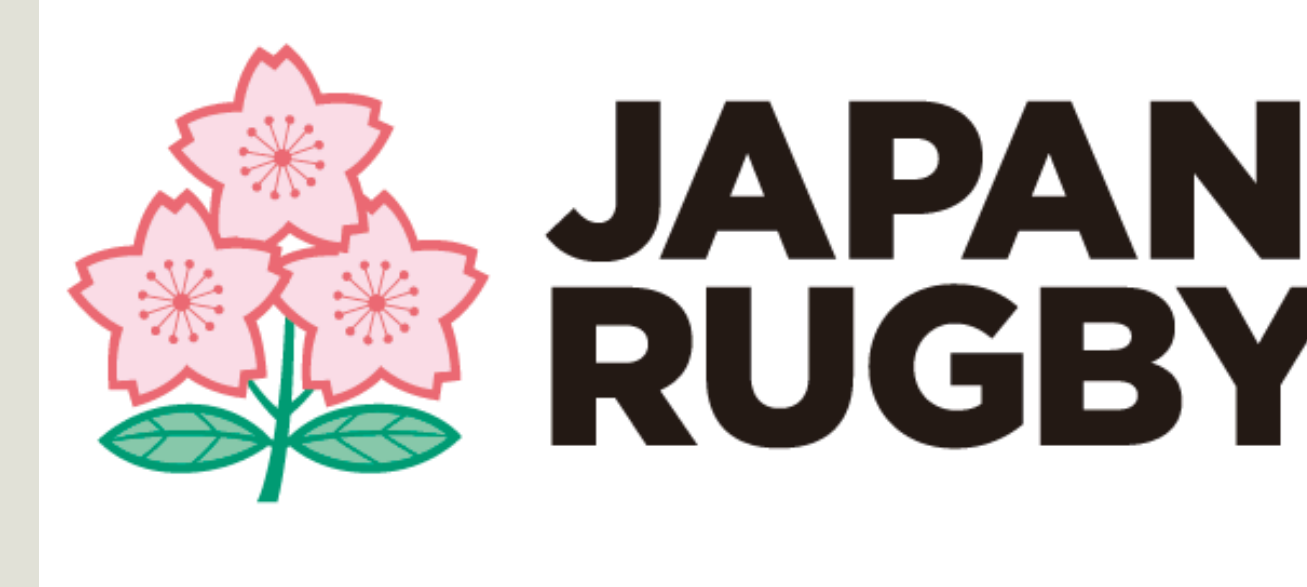


アジアユースリーダー育成プログラム



概要

本プログラムは、当協会が2011年から実施している「アジア・スクラム・プロジェクト」を通じて構築されたラグビーの国際的なネットワークを生かし、ユース世代の若者を対象に、ラグビーを通じた社会課題への取り組みや、国際的なリーダーシップおよび理念実践のためのマネジメントスキルを習得する機会を提供するプログラムです。プログラム終了後には、参加者それぞれが学んだことを生かし、各自のコミュニティでプロジェクトを実施することのサポートを行い、実践的に活動すること、そしてラグビーに限らずスポーツによる社会課題への取り組みが増えていくことを目指します。

初年度となる2024年度は、インドのマハラシュトラ州ラグビー協会（Rugby Association of Maharashtra：RAM）と連携し、ラグビーと環境問題をテーマに、プログラムを実施。2025年度は2026年に行われるアジア大会に向けて、日本でラグビーを通じた多文化共生をテーマに、プログラムの実施を企画しています。

目的 ユースリーダーシッププログラムでは、プログラムを通じて、以下5つのゴールを達成することを目指します。



リーダーシップ育成/
Leadership
Development

- 次世代のリーダーになる人材の育成



多文化共生/
Cross-Cultural
Collaboration

- 異なる文化のチームで働くことで、新たな価値を創出する



サステナビリティ/
Sustainability
Integration

- サステナビリティに関する理解を深め、必要なアクションの計画・実施ができるようにする



コミュニティエンパワメント/
Community
Empowerment

- 自分のコミュニティにおける課題を特定し、その課題に対してアクションをする



グローバルインパクト/
Global Impact

- 本事業を将来様々な国と実施することで、グローバルなインパクトを生み出す

日時・場所

- 2026年1月 事前プログラム（オンライン）
- 2026年2月17日~23日 対面セッション@豊田市、熊谷市
- 2026年3月-9月 フォローアップ、

参加対象

- 18歳～30歳の日本 4名、インド2名、フィリピン2名のユース
- 次世代のリーダーになりうる人材
- ラグビーの経験がある、もしくはスポーツを通じて社会課題への取り組みを行っている

活動概要

1. 事前プログラム

スポーツを通じた社会課題への取り組み、各国のラグビー普及に関する取り組みについて学ぶ。

2. 対面プログラム @豊田

ラグビーを通じた多文化共生、リーダーシップについて学ぶ。

3. 事後プログラム

学んだことをアクションにできるよう、帰国後も個人の活動のフォローアップを実施。アジア大会で各国の意思決定者と直接対話の機会を創出。

- ▶ アジアにおけるリーダーの育成
- ▶ アジアにおけるリーダーを支援・協働できる体制の確立
- ▶ ラグビーを使った取り組みを通じて、社会がよりよくなる

昨年の活動の様子

[HTTPS://WWW.RUGBY-JAPAN.JP/NEWS/52979](https://www.rugby-japan.jp/news/52979)

